

定期採用職員が入職しました

2013年4月1日(月)

本年度は、大学卒の職員を2名採用しました。高齢者介護が好きで、福祉に将来を懸ける意気込みです。法人の未来に期待が持てます。



同志社女子大学卒1名 龍谷大学卒1名

業務改善活動の取り組み成果発表会

日程 2013年2月19日
会場 ケアハウス食堂



5月より、8回にわたり毎月職場を挙げて業務改善に取り組む活動を行いました。

2012年度は、みなくちみんなの家 グループホームの「入居者様の日中のリハビリパンツ、パッドの使用の適正化」が最優秀賞を、ほだいじデイサービスセンター虹の「利用者様の食生活の充実を図る」が優秀賞を受賞しました。

改善活動に取り組んで5年が経過し、レベルもかなり向上してまいりました。サービスの向上、効率化、コストダウンに寄与していると思います。



法人のお墓ができました

お墓の除幕式 2013年4月5日

法人の近くにある西應寺の墓地に法人が永代使用権を得ることができ、入居者様 職員等の専用のお墓が完成し、除幕式が盛大に行われました。

在宅看取りの取り組み強化に続き、お墓も提供でき、入居者様には好評です。



ボランティア感謝会開催 2013年4月11日



みどりの村の「吉泉」にて、ボランティア様16名のご参加で開催いたしました。お話、手芸、ハーモニカ、音楽療法、踊り、喫茶、草刈りなどのボランティアで活躍されている皆様です。当日は、皆様が自己紹介の中でボランティアの目的、手法を交換し合い和やかなうちに終えました。地域社会のさわやかな風を持ちこんでいただき、感謝しております。

寄付金・後援会費 感謝報告

後援会へのご加入をお願い申し上げます。ご協力いただいております方々のご芳名を掲載し、報告と御礼とさせていただきます。

2012年の後援会費は101名で118万円でした。訪問看護ステーションの軽自動車2台の購入などに充当させていただきました。

また 本年は1322万円の大口寄付をケアハウスの元入居者様 故西村さき 様よりいただきました。

この寄付のおかげで法人のお墓の費用も捻出できました。ありがとうございました。

2012年12月25日～2013年4月15日までの後援会費 (順不同・敬称略)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 田辺 明子 | 細見 昌平 |
| 田上 富久子 | 草津教会バザー委員会 |
| 日本基督教団 水口子どもの教会 | 日本基督教団 水口教会 |
| 日本基督教団 城陽教会 | 日本基督教団 京都教会 |
| 日本基督教団 彦根教会 | 三宅 光子 |
| 日本基督教団 洛西教会 | |

事業内容

ケアハウス ピスガこうせい／ほだいじデイサービスセンター／ほだいじホームヘルプステーション／ほだいじ居宅介護支援センター／高齢者支援センターほだいじ／グループホームほだいじ／中央デイサービスしんあい／小規模多機能型居宅介護 ほだいじみんなの家／みなくちみんなの家(グループホーム、デイサービス、ケアプランセンター)／ほだいじ訪問看護ステーション

発行日 2013年5月

発行責任者

理事長 奈良 豊 夫
館長 森口 茂



振込後援会費
取り扱い金融機関 郵便局
口座番号 00960-0-109363
社会福祉法人 近江ちいろば会
会費：年額1口 5,000円 (何口でも可)

ピスガからの風

第34号

2013年5月

社会福祉法人 近江ちいろば会

ピスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900 (代表)

FAX.0748-74-3910

http://chiiroba.jp/

2013年度の方針

4月1日に法人内方針発表会を行い、法人・事業所の方針を職員一同で確認いたしました。スローガンは「前例をつくります」今日のサービスは、昨日より向上しているか！変化の激しい時代において、昨日の通りの仕事ではサービスは低下していきます。「新しい価値の創造」を目指して、私たちが「前例」を創りだす主体になりたいと願っています。団塊の世代が65歳になる2015年が2年後です。多様なサービス提供にチャレンジしてまいります。



館長 森口 茂

近江ちいろば会のビジョン

戦略的人材育成の仕組み

- ✓優れた事業者との連携による人材育成 (高いレベルの教育機会) (日本キリスト教社会事業同盟等) (滋賀県老人福祉施設協議会)
- ✓リーダーの育成 (計画的育成) (5年後の中核人材候補の育成)
- ✓対外発表などを積極的にを行い、視野や人脈を広げる



方針発表会

私たちの目指す姿

- ✓地域の方々から、近江ちいろば会があつてよかったなあ 守ってもらっている、と言ってもらえる事業を行う
- ✓在宅医療が必要となっても、認知症となっても、高い人権意識、倫理観を持って、援助ができる
- ✓どこよりも、近江ちいろば会を利用したいと言ってもらえる

2013年度 法人内研修・委員会計画

担当	法人全体研修	主任/所長研修	業務改善活動	委員会				モーニングの集い	ほほえみネット研修	避難訓練
				安全・衛生	感染対策	夏祭り	給食			
	グループリーダー	大石講師	大石講師	所長	芦田/北村	浅利・萩原	浅利	森口館長	堀内	芦田・上西
月	18:00~19:00、20:00	終日	13:00~15:30	14:00~15:00	随時	14:00~15:00	7:30~8:00	18:30~20:00	14:00~15:00	
4月	4/1(本部)2(水口)方針発表会			4/11		スタート	4/8	4/1		
5月			5/14	5/16			5/6	5/1	総会+人権研修	○
6月	6/12 遭遇マナー		6/11	6/13	6/26		6/3	6/3		
7月			7/16	7/11		7/27	7/8	7/1	○	
8月	9/11 介護技術① 大塚先生		8/20	8/15			8/5	8/1		
9月		9/14、28	9/17	9/12	9/26		9/9	9/2	○	
10月		10/12、26	10/15	10/10			10/7	10/1		○
11月	11/27 介護技術② 大塚先生		11/19	11/14			11/4	11/1		
12月	12/11 感染症・人権		12/17	12/19	12/12		12/9	12/2	○	
1月				1/9			1/8	1/6		
2月	2/5 介護技術③ 大塚先生		2/18発表	2/13	2/6		2/5	2/3		
3月	3/12 発表事例報告会			3/13			3/5	3/3	○	

基本理念：人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

私たちはキリスト教の精神に基づいて、高齢者の全生活において、「隣人愛の奉仕」を実施することを基本理念とします。

ケアハウスピスガこうせい

メンバーの特徴
ワーカーが若い男性職員2名になり、今までとは少し違った雰囲気になりました。

2012年度の成果
初めて看取りを行いました。入居者様の安心ある暮らしに繋がりました。入居者様のボランティア活動が定着してきました。

スローガン
「ケアハウス ピスガこうせい」は「わたしにとって我が家になった。」と言われたい。

一事業所一実践活動
毎月1回「整理整頓の日」を定め、気持ちの良い施設づくりをしています。

チーム力向上の取り組み
信頼できる職員になるために、認知症・障がいについての理解、介護保険制度、高齢者心理の理解を深めます。



デイサービス 虹(一般型)

メンバーの特徴
行動力とチャレンジ精神を持ったチームです。

2012年度の成果
昨年度は子どもから大人までいろいろな人が集まる事業所を目指し、学生ボランティアや学童との交流、地域のボランティアの受け入れを積極的にいき、開かれたデイサービスにすることができました。今年度も引き続き取り組んでいきます。

スローガン
さすが「ほだいじデイサービスセンター虹」は「みんながいきいきとしている場所やなあ」と言われたい。

一事業所一実践活動
業務分担の見直しで業務のスリム化を行い、日々の業務だけでなく新たな試みに熱意を持って取り組めるような仕組みを作ります。

チーム力向上の取り組み
①自分の仕事に責任と誇りをもつ ②チーム全員と話をする
③「過去と他人は変わらない。自分が変わる」の精神



デイサービス いこい(認知症型)

メンバーの特徴
ベテランから、若手まで幅広い職員が揃っています。それぞれの職員が特徴を活かして、ご利用者様の過ごし方を考えています。

2012年度の成果
センター前の廊下の活用として、ご利用者様の作られたものを、飾りつけしたり、脳トレーニングクイズの設置をおこないました。外から来られた方などに好評でした。
地元の方との交流として、幼稚園の誕生日会に参加させていただきました。子供との交流でご利用者様が喜ばれていました。

スローガン
さすが「ほだいじデイサービスセンターいこい」は「目標のあるデイサービスと言われたい」

一事業所一実践活動
高校生や、大学生など、地域ボランティアの方に入って頂ける雰囲気を作っていく、積極的にボランティアの受け入れを行っていきます。

チーム力向上の取り組み
記録の共有と事務作業効率アップをパソコンで行えるようにしていきます。介護力向上に向けて、マニュアルを作っていく、ご利用者様のケース検討会議を行っていきます。



小規模多機能型居宅介護ほだいじみんなの家

メンバーの特徴
利用者様を笑顔にすることが得意な職員が多く、そのおかげで笑いのたえない場所となっています。Smile/パワーで、明るい・楽しい「みんなの家」を作っています。

2012年度の成果
・全老協・全国小規模多機能セミナーにて、事例発表を行う。
・地域の知的障がい者をボランティアとして受け入れ、地域貢献への1歩を踏み出しました。
・畑を作って野菜の栽培、収穫を利用者と共に体験できました。

スローガン
ほだいじ みんなの家は「地域に愛される事業所だ」と言われたい。

一事業所一実践活動
・地域の小学校との交流行事を行います。
・多くの方がお越し下さる風通しのよい事業所を目指します。

チーム力向上の取り組み
・小規模多機能型の使命を意識した働き方を全職員が目指します。



各事業所の 取り組み紹介

グループホーム ほだいじ

メンバーの特徴
明るく笑顔の絶えない頑張りや

2012年度の成果
百歳体操への取り組みから健脚で体調不良の少ない成果を出せました。

スローガン
さすが「グループホームほだいじ」は、「柔軟で即応性のある支援力で認知症のケアの頼れる存在」と言われたい。

一事業所一実践活動
・散歩と夏休みのラジオ体操への参加
・百歳体操の継続による体力維持の向上
・毎日10時、14時ビデオでのラジオ体操の実践

チーム力向上の取り組み
①エンゲージメントを高める。(信頼し合い、組織の成功の為に一丸となる)
②衆知を集めて行動におこしていく。
③報告、連絡、相談を徹底する。



中央デイサービスセンター しんあい(認知症型)

メンバーの特徴
まじめなのに、明るく、優しいスタッフ達です。

2012年度の成果
土曜日をご利用いただけるようになりました。

スローガン
法人のスローガンを共有します。さあ、一歩を踏み出そう『前例を創ります』

一事業所一実践活動
小さな夢を、大きくかなえる。もう一度してみたい事、行ってみたい所(してみましよう！ 行ってましよう！)

チーム力向上の取り組み
次世代のスタッフが、臆することなく活躍できる「しんあい」を目指します。



ほだいじ ホームヘルパーステーション

メンバーの特徴
新しくユニフォームを購入しました。「ヘルパーステーション」の字の横に♡マークがあります。皆様に真心をお届けできるヘルパーです。

2012年度の成果
高齢者・障がい者・移送サービスの3つのサービスを実施

スローガン
「あらゆる方にも対応できるヘルパーがいる」と言われたい。移送サービスは「任せて安心な人ばかりです」と言われたい。

一事業所一実践活動
月1回のミーティングを実施

チーム力向上の取り組み
①「たくさんの研修に参加して学ぶ」
②「障がい福祉について学ぶ」
③月1回のミーティングにて情報を共有し学ぶ



ほだいじ 訪問看護ステーション

メンバーの特徴
年齢差は親子、看護師経験さまざま、比較のおとなしい人ばかり集まりました。

2012年度の成果
少しずつ利用者様を増やし、訪問エリアを広げることができました。

スローガン
ほだいじ訪問看護ステーションを利用してよかったと言われるような仕事をします。

一事業所一実践活動
病院の地域連携室とのつながりが持てるよう働きかけます。

チーム力向上の取り組み
やる気のある人が、健全で動きやすい職場となるよう個々に努力します。



ほだいじ 居宅介護支援センター

メンバーの特徴
それぞれの好きな言葉を添えてメンバー紹介いたします。左から
今橋・(好きな言葉)「なぜ」があるから進歩がある…なぜ?という問題意識をケアマネジメントに活かしていきたいと思います。
村木・(好きな言葉)朝のこない夜はない…人生において、つらい事があってもまた光は見えてくるという内容に勇気づけられます。
渡邊・(好きな言葉)神様は背負いきれない荷物を与えない…つらいことや困難な事があっても、それはすべて理由があること。必ず乗り越えられるという勇気が持てます。
浅井・(好きな言葉)過去を悔やむより、未来を期待するより、今を生きよう…1日を大切に思うと、当たり前の事が当たり前と思わなくなる。ちょっとした事が幸せと思える。明日の事はわからないから今を大切に生きたい。

2012年度の成果
業務改善活動を通じて、地域のインフォーマルな社会資源を知ることができました。

スローガン
さすが「ほだいじ居宅介護支援センター」は「地域貢献度ナンバーワン」と言われたい。

一事業所一実践活動
地域の行事に参加し、事業所の存在をPRする。「気軽に相談できる事業所」として存在を知ってもらおう。

チーム力向上の取り組み
事例やケース検討を通じて、相談援助技術のスキルや、制度の理解を高める。



高齢者支援センター

メンバーの特徴
相談援助業務・生きがいサービス・配食サービスそれぞれの担当者、計9人が集合している事業所です。世代の幅は大変広く、30歳代から70歳代まで個性で人間味豊かなメンバーです。

2012年度の成果
地道な訪問活動・基本チェックリストの活用・市の事業と有機的につなげ、住民サービスに貢献。

スローガン
さすが「高齢者支援センターほだいじ」は、「相談して頼りになる」と言われたい。

さすが「るんるんクラブ」は、「安心できる私の居場所」と言われたい。
さすが「近江ちろば会いきいき弁当」は、「お食事の安心を届けてくれる」と言われたい。

一事業所一実践活動
・地域の勉強会に参加する
・小学校での地域学習の出前をする

チーム力向上の取り組み
定例ミーティングの開催により、報告・連絡・相談の徹底。研究発表に向けての取り組み。



法人本部

メンバー体制
4月1日より新体制となりました。新設の経営企画室の大石室長と本部メンバーも替わり新しい体制で取り組みます。どうぞよろしくお願ひ致します。

スローガン
さすが「近江ちろば会本部」は、「専門的業務を、基本に、忠実に、柔軟に、マルチに、対応してキパキとこなせるエキスパートがそろっているなあ」と言われたい。

チーム力向上の取り組み
・経営数値…収益向上による経営基盤強化への取り組み
・役割…事業所の司令塔になるように取り組み
○新経営企画室として
・リーダーの人材育成
・業務改善推進
・新たな施設整備



みなくち みんなの家

グループホーム

メンバーの特徴
笑い声の絶えない愉快的仲間です。

2012年度の成果
・開所後、2ヵ月半で満床にすることが出来ました。
・運営推進会議を行うことで、みんなの家の玄関や公用車にこども110番のプレートやコーンを設置することが出来、地域の一員としての役割を担うことが出来ました。また、地域のサロン(手打ちどん)をみんなの家で行うことが出来ました。
・複数連携事業の会議、研修に参加し甲賀市の他事業所との交流を持つことが出来ました。
・小学校の集団登校の集合場所になり、毎朝小学生との交流を持つことが出来ました。

スローガン
「グループホーム みなくち みんなの家」が、「水口に出来てよかった」と言われたい。

一事業所一実践活動
ケアプランセンター、デイサービスセンターと協力し水口地域の認知症や介護相談を受ける。

チーム力向上の取り組み
・知識、経験を共有していく。(勉強会、OJT等)
・相手の意見をまずは聞き、相手の価値観を否定しない。
・緊急時の対応を職員全員で話し合っ共有する。



デイサービス(一般型)

メンバーの特徴
デイサービスセンターみなくち みんなの家の特徴は、「ご利用者様、職員と一緒に笑いあう声につつまれるみんなの家」です。

2012年度の成果
定期的にボランティアさんに来て頂くことができました。(食事、ハーモニカ、尺八、オカリナなど)
みんなの家の玄関、公用車に子供110番のプレートやコーンの設置ができた地域役割を担うことが出来ました。

スローガン
「いつ来てもデイサービスセンターみなくち みんなの家」は、「居心地がよくてここで過ごせるのが一番の楽しみだ」と言われたい。

一事業所一実践活動
ケアプランセンター、グループホームと協力し水口地域の認知症や介護相談を受ける。(甲賀市の他のグループホームとも協働する)

チーム力向上の取り組み
①毎日のミーティング時に、今日の良かった点など一日の振り返りを行い全員が共有する。
②相手の話を最後まで聞き、価値観、個性を否定しない。
③緊急時対応や勉強会などを行い、チーム全員が知識を共有する。



ケアプランセンターと厨房

メンバーの特徴
昨年に引き続き児童、障がい、高齢等多分野で経験してきたケアマネージャーが地域の皆様のご支援、ご相談のお手伝いをさせていただきます。事務員が一人増えました。福祉の経験と国家資格をもっています。お困りごとがあったら、相談してください。

スローガン
地域の方から相談に来てよかったと言われるケアマネージャーに！

一事業所一実践活動
みなくちみんなの家全体の職員のレベルアップ(資格取得者の後方支援)

チーム力向上の取り組み
「食の力」管理栄養士や調理師が毎日手作りしている美味しい料理を、利用者様だけでなく、職員もおいしく食べています。食はコミュニケーションの源です。

